

人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ

2025 年 10 月 17 日

報道関係各位

三菱地所コミュニティ株式会社

**三菱地所コミュニティ株式会社が「危機管理産業展 2025」シンポジウムに登壇
——首都直下地震に備える「在宅避難」と防災体制のあり方を提言——**

三菱地所コミュニティ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大井田 篤彦）は、2025 年 10 月 1 日（水）～3 日（金）に東京ビッグサイトで開催された「危機管理産業展 2025（RISCON TOKYO）」のシンポジウムに登壇し、タワーマンションにおける在宅避難の実践と課題について講演を行いました。会場は満席となり、在宅避難に対する関心の高さがうかがえました。

本シンポジウムでは、マンション管理会社としての視点から、在宅避難を支える防災体制の構築と地域連携の重要性について提言しました。

また、首都直下地震を想定した防災対策をテーマに、行政・研究機関・民間企業の専門家が集い、それぞれの立場から避難者支援のあり方を語り、議論を行いました。



■シンポジウム概要

日時：2025 年 10 月 1 日（水）15:00～16:30

会場：東京ビッグサイト

会議棟 1 階 レセプションホール

主催：株式会社東京ビッグサイト

特別協力：東京都

テーマ：

「首都直下地震に備える ～在宅避難と避難者支援のあり方～」

登壇者：

・ 壬生 真紀子 氏（三菱地所コミュニティ株式会社 CS・防災推進部長）

パネリスト：

・ 原田 智総 氏（東京都危機管理監）

・ 明城 徹也 氏（特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク事務局長）

コーディネーター：

廣井 悠 氏（東京大学 先端科学技術研究センター 教授）

■講演内容の概要（当社発表）

「タワーマンションにおける在宅避難の実践と課題」と題し、以下のような視点から講演を行いました。

- ・高層階での移動困難や生活機能制限など、タワーマンション特有の課題
- ・建物の防災性能向上と、共助を支える管理組合活動の支援
- ・地域との連携による情報・物資の共有体制の構築
- ・防災訓練やマニュアル整備を通じた居住者の意識醸成と行動促進

特に、管理会社としての役割を「地域とマンションをつなぐ橋渡し役」と位置づけ、持続可能な防災体制の構築に向けた取り組みを紹介しました。

■危機管理産業展（RISCON TOKYO）について

RISCON TOKYO は、「防災・減災」「BCP・事業リスク対策」「セキュリティ」などをテーマにした国内最大級の危機管理総合トレードショーです。2005 年より毎年開催され、今年で 21 回目を迎えました。



以上

【お問合せ先】 三菱地所コミュニティ株式会社 経営企画部 メール：mjc-kouhou@mec-c.com